

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

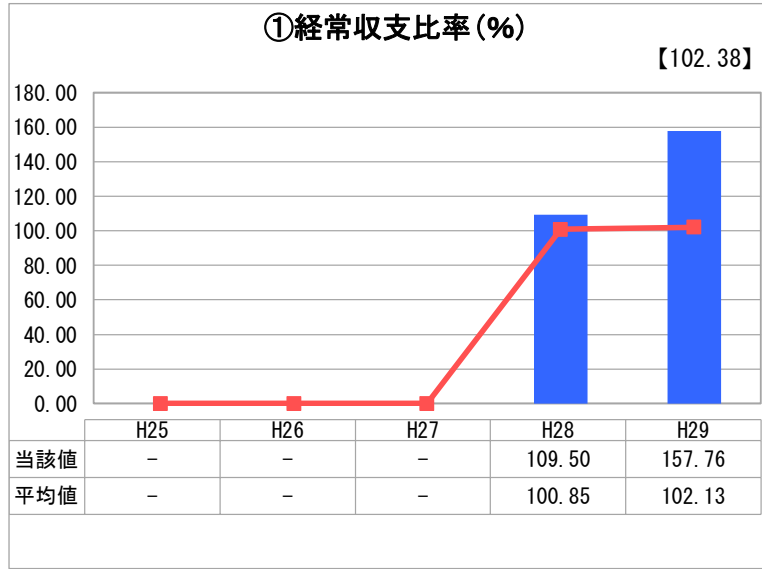
長野県 中野市

| 業務名       | 業種名         | 事業名         | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|-------------|--------|--------------------------------|
| 法適用       | 下水道事業       | 特定環境保全公共下水道 | D2     | 非設置                            |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%)      | 有収率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |
| -         | 28.16       | 11.61       | 89.17  | 3,510                          |

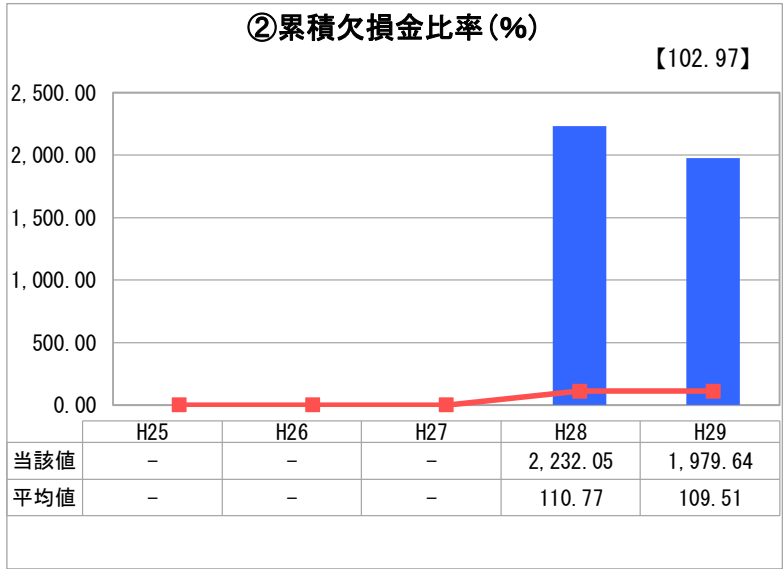
| 人口（人）      | 面積（km <sup>2</sup> ）     | 人口密度（人/km <sup>2</sup> ）      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 44,984     | 112.18                   | 401.00                        |
| 処理区域内人口（人） | 処理区域面積（km <sup>2</sup> ） | 処理区域内人口密度（人/km <sup>2</sup> ） |
| 5,195      | 2.30                     | 2,258.70                      |

|                |
|----------------|
| グラフ凡例          |
| ■ 当該団体値（当該値）   |
| — 類似団体平均値（平均値） |
| 【】 平成29年度全国平均  |

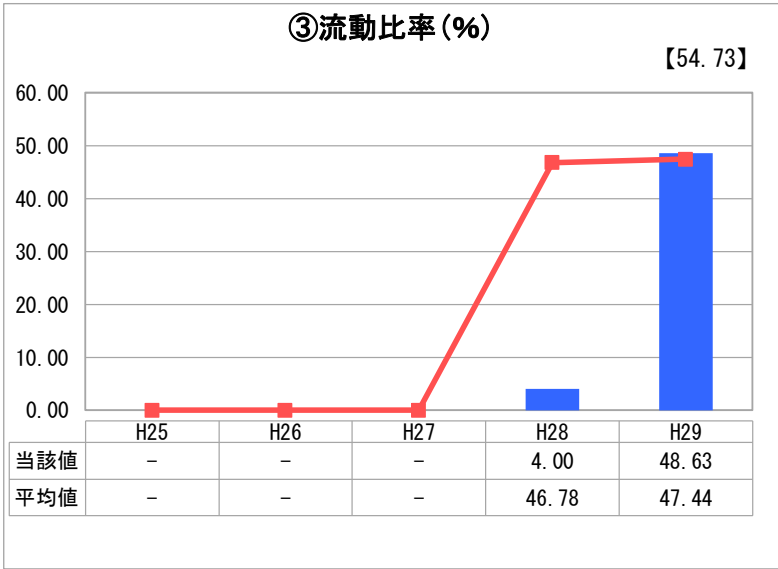
## 1. 経営の健全性・効率性



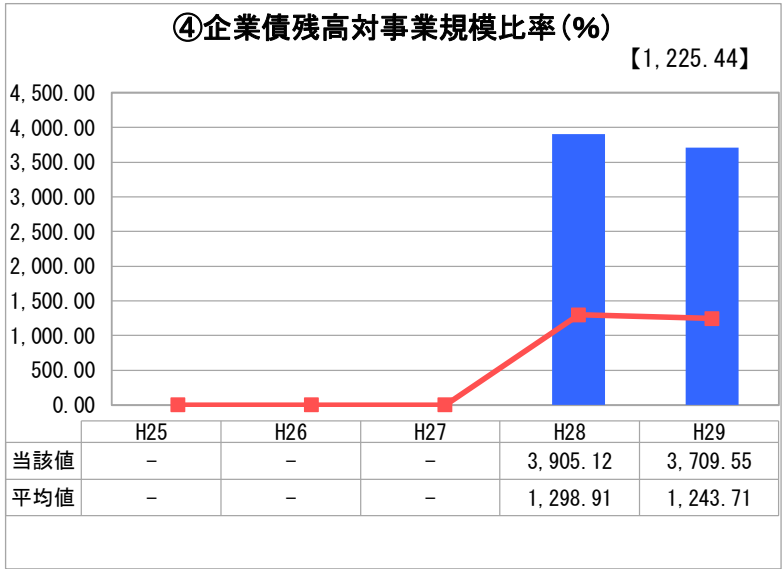
「経常損益」



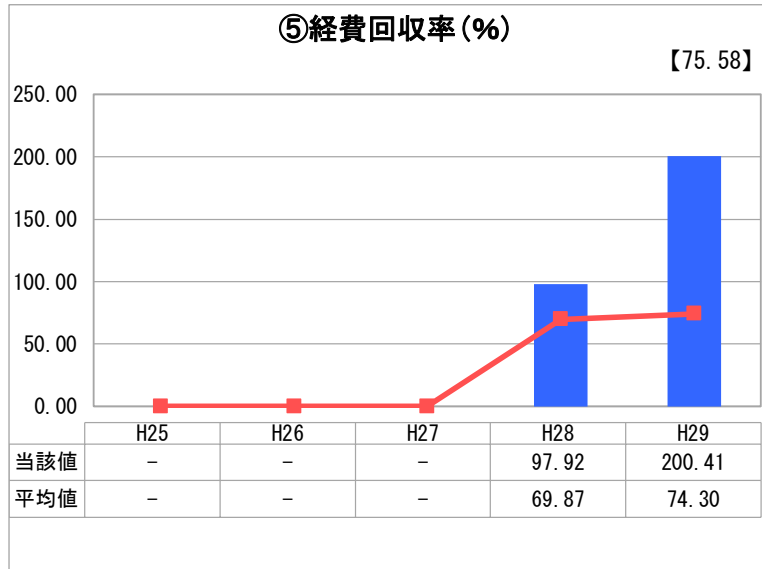
「累積欠損」



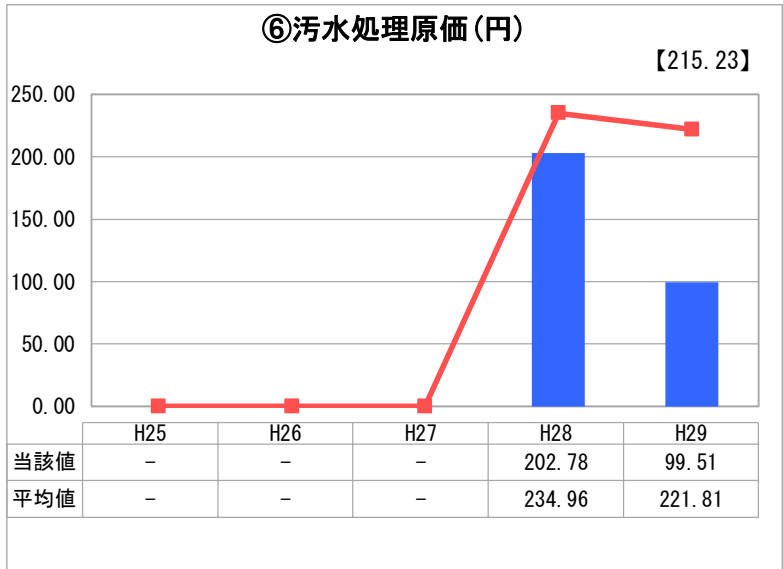
「支払能力」



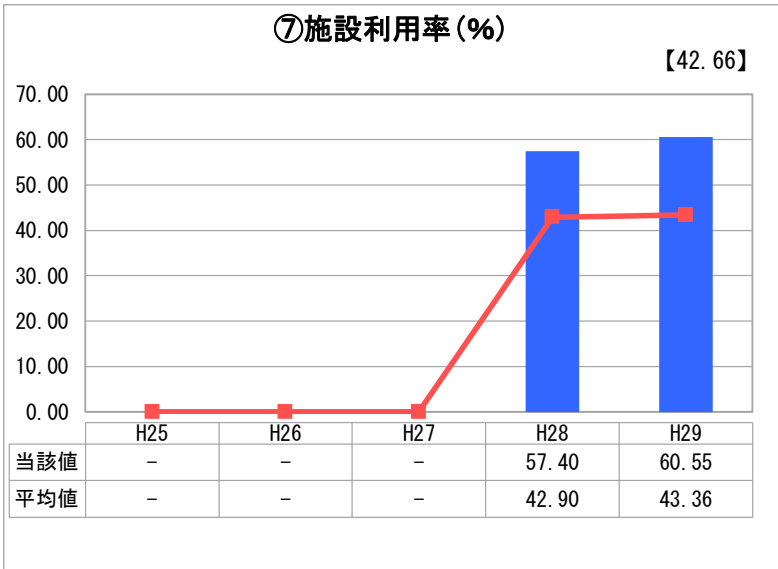
「債務残高」



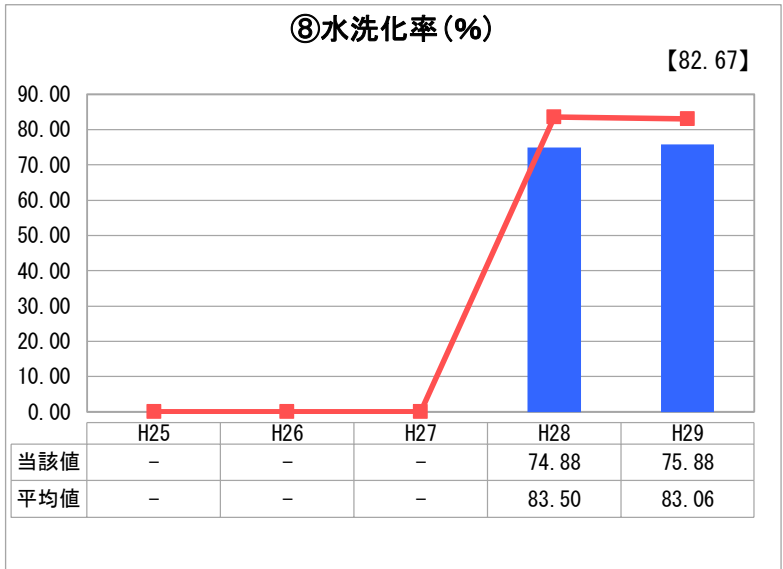
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

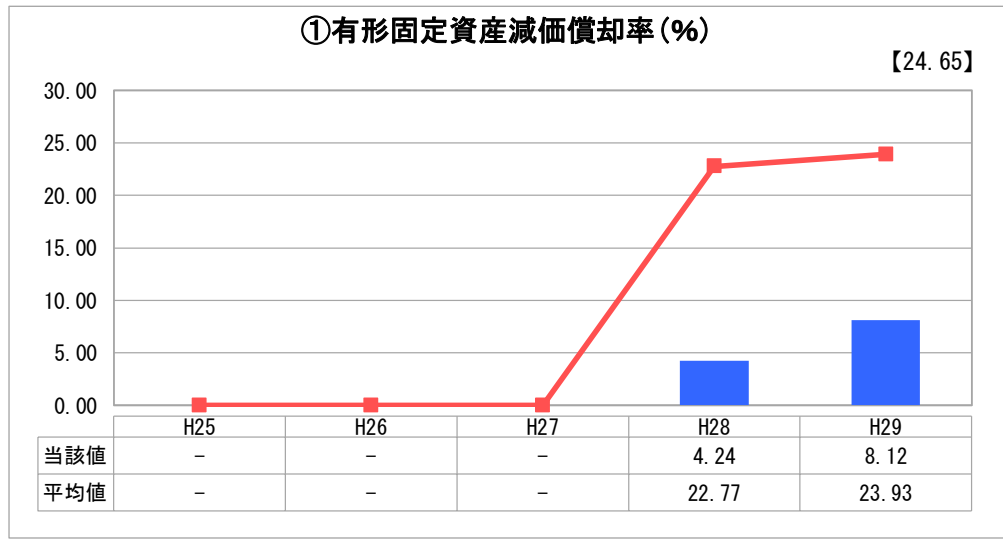


「施設の効率性」

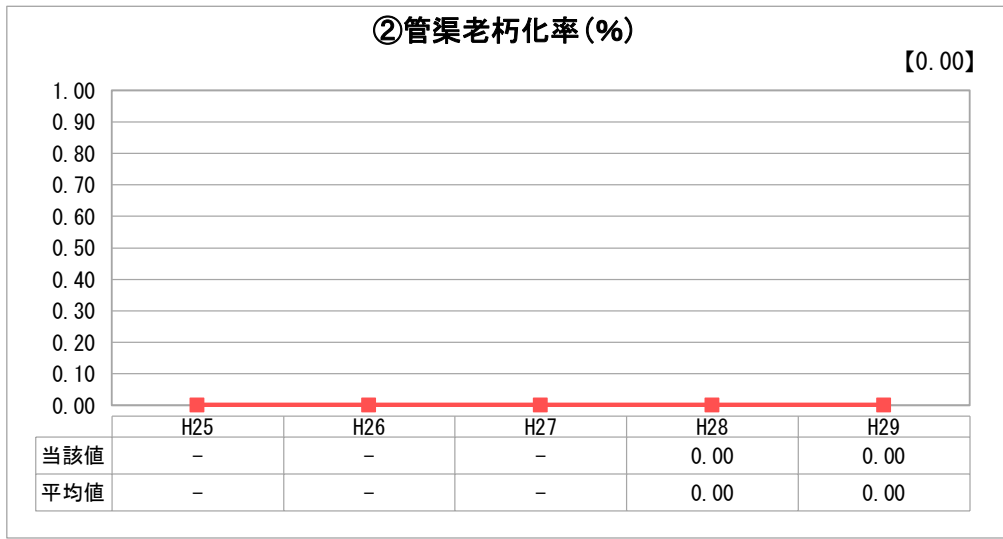


「使用料対象の捕捉」

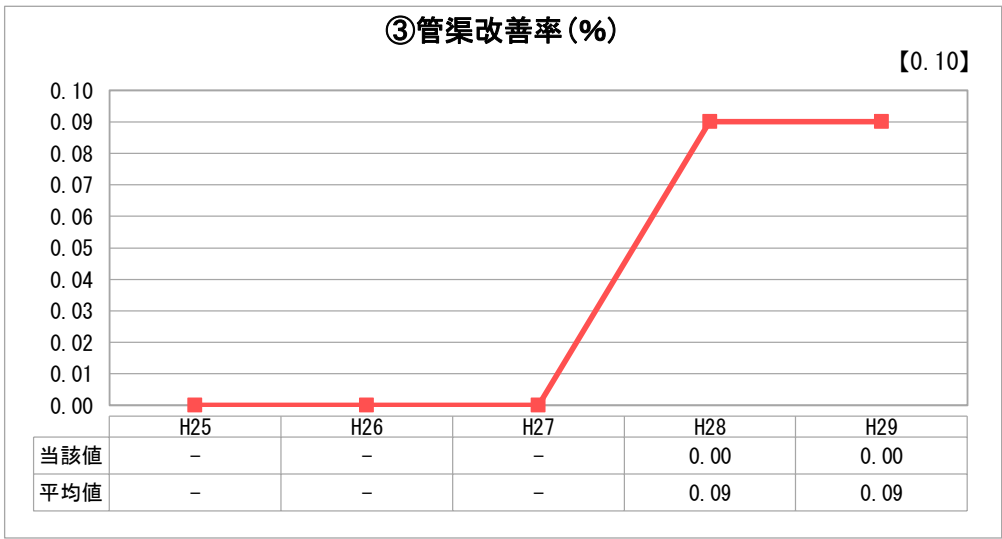
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・企業債による負債の他繰延収益の長期前受金が多額であることから累積欠損金が発生している。経営戦略等で収益性の向上及び経営の健全化を図る。
- ・大規模修繕工事がなかったことから汚水処理原価は下がっているが、今後は計画的な修繕を行うことでコストの平準化を図っていきたい。

### 2. 老朽化の状況について

- ・現在のところ維持管理経費については比較的抑えられているが、今後は年数経過による老朽化も進み維持管理経費が増加することから、本事業においても長寿命化事業等検討し施設管理を行っていく

## 全体総括

- ・隣接する農業集落排水事業の処理施設との統合を進め、維持管理経費の削減を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。  
※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。